

平成28年度第2回佐久市総合計画審議会第3部会 議事録

日 時:平成28年8月17日(水)

13:30~15:00

場 所:佐久市役所 4階

402会議室

【出席者】金澤部会長、山本副部会長、岩間委員、田島委員、谷口委員、花岡委員、  
小林委員、土屋委員、甘利委員、篠原委員

【事務局】佐藤企画課長、若林課長補佐(企画調整係長)、小林、山口

1 開会

2 部会長挨拶

3 議 事

(1) 第二次佐久市総合計画前期基本計画の策定について

- ・事務局より、第二次佐久市総合計画前期基本計画骨子案のうち、第4章について施策毎に説明。その後、部会において審議(資料1)

(資料1)

ア 第4章 質問・意見

	資料1 P57 施策名:高齢者福祉
(委員)	家族が要因となる虐待が多いと伺っており気になります。高齢者になり虐待を受けることがないように、ぜひ力をいれていってほしいと思います。
(委員)	介護人材の確保と育成について、前期の主な取組として「国・県が実施している介護人材の育成・確保に向けた事業などの周知を図ります」と記載されており、「介護保険施設などの整備を促進します」というような他の記載より弱い記載のように思います。介護保険施設を整備するのはお金がかかることですので、市として介護人材の確保と育成について、もう少し明確に記載ができませんか。
(事務局)	介護保険施設は3年に一度「老人福祉計画・介護保険事業計画」を見直し、必要な量を明確にして整備を進めております。その中で、民間事業所の力を借りて整備をしていくようになるため、このような記載とさ

	<p>せていただいております。また、介護人材の確保・育成については、国・県が主体となって実施している部分であるため、市としてできることとして、周知という記載をさせていただいております。今後も国・県の動向を注視しながら実施をしていきたいと思っております。</p>
(委員)	<p>国が創設した「認知症地域支援体制構築等推進事業」の長野県のモデル地区として飯綱町が指定されたため、視察に行ってきました。学校の登下校の際に認知症の方を見かけたら学校などへ連絡するという体制ができており、地域ぐるみで認知症の方を見守っていました。そういうことも含め、大勢の目で認知症の方を見守ることができるというような記載をしてもらえたらと思います。</p>
(事務局)	<p>検討させていただきます。</p>
(委員)	<p>広域連合が実施している成年後見支援センター事業がどのように機能しているのか、法人後見についてどのような方が後見人になっているのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>成年後見支援センター事業は佐久広域で実施しております。平成 28 年 4 月 1 日より、佐久広域連合が所管していた業務を佐久市社会福祉協議会が受託し、法人後見も行うようになり、社会福祉協議会が法人後見人になれるようになりました。</p>
(委員)	<p>相談件数は少なかったと伺っております。もう少し、制度の PR をしていった方がいいと思います。</p>
(委員)	<p>制度を知らない方は多いと思います。地域包括支援センターなどで活用を進めているため、後見人を利用する方は少しずつ増えていると思いますが、周知はまだまだ不十分だと思います。</p>
(事務局)	<p>佐久広域連合と連携しながら、周知徹底を図っていくようにしたいと思っております。権利擁護の促進について、啓発や理解についてもう少し強調した記載を検討させていただきます。</p>

	<p>資料1 P59 施策名：障がい者福祉</p> <p>(委員) 「障がいを理由とする差別の解消の推進に関する法律」が本年4月から施行されましたが、罰則規定がなく、差別が起きた場合は当事者同士での話し合いとなります。そこで、希望としては、窓口がたらいまわしにならないよう、また小さな町村では専門職を置くことが難しいため、広域的な障害者自立生活支援センターなどに窓口をつくり、弁護士やアドバイザーができるような方を置いてもらえるような組織を作っていたらと思っております。</p> <p>可能であれば、成年後見制度の利用について記載がある「さく成年後見支援センターと連携し」と同じように、「佐久広域連合障害者相談支援センターと連携し」などと記載してもらいたいと思います。</p> <p>(事務局) 広域連合や担当課と調整させていただきたいと思います。また、広域的な施策として、定住自立圏という取組もありますので、その中でも検討させていただければと思います。</p> <p>(委員) 前期の主な取組は全般的に漠然とした総論的な文書が多いと思います。</p> <p>(事務局) 障がい者施策の数がたくさんある中で、全てを実施しますと記載するのが難しいため、総論的な書き方になってしまっておりますが、新たに取り組んでいくような事業につきましては、記載していくようにしております。</p> <p>(委員) 第二次総合計画前期基本計画の主な取組ということは、最初の平成29年から33年の5年間の取組が記載されており、後期の5年間はあとで記載するということよろしいでしょうか。</p> <p>(事務局) 5年経つ前に次の平成34年から38年の5年間の計画についてご審議いただくようになります。</p> <p>(委員) 総合計画であるため総論的になると思いますが、最上位計画であるため、この下に佐久市障害福祉計画などの計画があると思います。その計画と連携、役割分担の調整はとっているのでしょうか。</p>
--	--

(事務局)	第4期佐久市障害福祉計画は平成27年度から平成29年度までとなっております。平成30年度に作成する際には、今回作成しております第二次総合計画に基づき、より具体的なものを盛り込んでいきます。
(委員)	高齢者の計画は3年ごとの計画であるため、来年改定されます。その中に施設計画も組み込まれるということですよ。その際には、この総合計画に基づいて、介護保険の会議で決めていくことになるのですか。
(事務局)	総合計画が最上位計画であるため、ある程度総合計画の中にこのようなことを実施しますという記載があり、より具体化された計画を策定することになります。
(委員)	そうなりますと、総合計画は少し漠然とした記載になるということになりますね。
(委員)	障がい者は年々増加していますので、それに対応できるようにお願いをしたいと思います。具体例としましては、小諸養護学校の生徒の卒業後の受け皿がなくなってきています。佐久市だけの問題ではないため、佐久広域全体で障がい者福祉を考え、広域的な施設の整備等を行っていただきたいと思います。また、企業で障害の方を採用する法律がありますが、社会の受入れについて、現実的には難しい部分があると思います。
(委員)	現状と課題には、「地域」「市民」という言葉がありますが、第二次総合計画前期の主な取組の中にそのような言葉の記載がされていないと思います。「市民に対して障がい者への理解を深める」とか、「地域ぐるみで障がい者に対して～」というような記載をしていただいた方がいいと思います。
(委員)	そういう文言を入れた方が、全体の意思表示になると思います。
(事務局)	検討させていただきます。
(委員)	「地域福祉」の施策には、福祉の総合的な施策が記載されていると思いますが、例えば「地域包括ケアシステム」などは高齢者だけの問題ではないと思います。地域全体でサポート体制をつくる話については、高齢者福祉や障がい者福祉などの各施策に入れるのがいいのか、地域福祉

	<p>の中で一括して強調するのがいいのか記載方法を検討して頂きたいと思います。</p>
(事務局)	<p>「地域福祉」の中では、「地域福祉ネットワークの充実を図る」と記載させていただいておりますが、地域福祉の捉え方について、わかりにくい部分があるかと思っておりますので、検討させていただきます。</p>
(委員)	<p>障がい者に対する地域の理解が重要だと思います。障がい者の差別に関する啓発について記載はされておりますが、障がい者の問題全体に対する啓発が一番大切だと思いますので、もう少し強調して記載して頂きたいと思います。</p>
(委員)	<p>前期の主な取組の一番始めに理念的なものや地域全体で取り組むという記載をしていただければと思います。</p>
(事務局)	<p>検討させていただきます。</p>
	<p>資料1 P 6 1 施策名：ひとり親家庭支援・低所得者福祉</p>
(委員)	<p>ひとり親家庭への支援の充実の記載で、具体的に食事の提供や学習支援の実施がこどもの居場所づくりのひとつになるのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>こちらで検討しているものは、児童館などを活用して実施したいと考えております。現在児童館の開館時間が午後7時までとなっているため、それ以降仕事をしなければいけない場合の子どもの居場所を提供したいと考えています。</p> <p>総合戦略にも、ひとり親家庭の支援の取組みとして検討していきたいと記載されており、より具体的に検討が進んでおります。</p>
	<p>資料1 P 6 3 施策名：少子化対策・母子保健</p>
(委員)	<p>近所でも若い男女が1人でおられるケースが多くなりました。社会福祉協議会でも婚活のイベントを行なっていることも伺っています。そういうことをもっとPRしていったらいいと思います。</p>

(事務局)	<p>今まで、市では社会福祉協議会に依頼して、結婚相談などを行っていただいておりますが、昨年総合戦略を作成するにあたり、少子化対策の一環として、市でも結婚支援に取り組もうということで実施しております。</p>
(委員)	<p>結婚の願望のある方は相談にも行くと思いますが、結婚したくない人をどういう風に結婚したいと思ってもらえるようにして、結婚まで結びつけるのが難しいと思います。</p>
(事務局)	<p>市でアンケートをとった結果、ゆくゆくは結婚したいという方が男女ともに9割くらいを占めていました。しかし、結婚に対しては国も希望者の実現としか言えない部分があります。</p>
(委員)	<p>出会いが少ないということだと思います。佐久市内だけだと身内だったとか知り合いだったということでためらう部分もあると思うので、市外や県外から婚活イベントに呼んでいただいた方がいいと思います。</p>
(事務局)	<p>今年度、都心や金沢からの方を呼んでのイベントも考えております。</p>
(委員)	<p>こういう機会をどんどんアピールして頂き、あたり前のように出会えるということを独身の方々に伝えていっていただきたいと思います。</p>
(委員)	<p>こういうイベントは様々なところで実施されており、参加される方が決まってしまっていてなかなかうまくいかない部分と、若い方々になかなか参加してもらえず、30代40代の方が多いという話を伺っております。</p>
(委員)	<p>婚活イベントは様々な所で実施していますので、例えば結婚したら住宅を提供しますなど、市でないと出来ないような事業を行なったらどうでしょうか。それで、県外からIターンなどで佐久市に住んでみようという話につながればいいと思います。</p>
(委員)	<p>小さい町村はそれができるとは思います、大きな市となると予算の関係などもありますので、難しいところがあると思います。</p>

<p>(委員)</p>	<p>結婚支援については他でやっていることよりも、次の子育て支援施策にもつながると思います。子育てしやすいまちだということを打ち出すことが重要だと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>浅間総合病院のことですが、非常勤の方が多かったり、週に1回しか診てもらえないような状況があったりしておりますので、浅間総合病院を持ち上げていくような力入れの表現も必要ではないかと思ひます。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>市民病院でありますので、安定的に運営が続くことが市民の皆さんにとって有効ですので、そこは強めに行っていきたいと考えております。</p>
<p>資料1 P65 施策名：子育て支援・児童福祉</p>	
<p>(委員)</p>	<p>未満児の時に親がどれだけ子どもを見ているのかが重要であるということが様々な統計や調査で結果が出ています。3歳未満児に対する施策の拡充やそれに対する親への負担の軽減など、市としてこういうふうな子育てをしましょうという部分について記載をお願いしたいと思ひます。</p>
<p>(委員)</p>	<p>10年の佐久市の方向を打ち出すわけですから、こういう所はやっていきますという部分があつていいと思ひますので、検討して頂ければと思ひます。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>他の市町村の施策と比べると佐久市は様々な子育て支援事業を行っております。3歳未満児へのサービスでなく、親御さんへの子育てについての視点については検討させていただきます。</p>

(2) その他

- ・次回会議の日程について連絡

4 閉 会